

北部病院だより 第125号(2018.11)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】食物アレルギー
【TOPICS】ロビーコンサート開催報告
【TOPICS】秋期公開講座
【医師の配属・異動・退職】
【患者さんからのご意見・ご要望】
【診療統計】
【TOPICS】回転扉の飾り付けのご紹介
【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

卷頭言 食物アレルギー

北部病院こどもセンターには1日に1人～3人くらいの患者さんが、何々を食べたら即時型（2時間以内）の反応やアナフィラキシー（2つ以上の臓器にまたがった症状が出た時。例えば、蕁麻疹が出てゼイゼイしたとする皮膚症状と呼吸器症状が出たことになり、立派なアナフィラキシーとなります）が出たと紹介受診されてきます。そのような患者さんには、まず詳しくお話を聞きます。いつどんな時に、どんな食材を食べたら、何分くらいでどんな症状が出たのか。乳児湿疹やその他のアレルギー症状（喘息、花粉症など）が出たことはないか、家族にアレルギーを持った方はいないかなどを伺います。血液検査データを持参される方も多くいらっしゃいますが、検査が未施行の方は皮膚プリックテストと血液検査を行います。そして、その結果を見て食物負荷試験を予約します。負荷試験は、以前は診断をつけるために行っていましたが、今は反応が起こらない量を見つける目的もあって行います。検査が陽性だから除去を指示されているお子さんが多いのですが、腸には耐性を作る白血球がたくさんいて、その細胞を育てた方が早く食べられるようになることが分かったため、現在は乳児であろうと除去を薦めることはまずありません。さて負荷試験の話に戻しますと、どのような反応が出るかわからないため、原則初回は入院（日帰り入院）しておこなうことになります。こどもセンターでは年間600件ほどの負荷試験をしています。負荷量は、問診で伺った話と検査値を見て決めます。当然ですが、微量でも強い反応が出ていれば負荷する量は少量（微量？）となります。そして、反応が出ない量（安全量）を見つけたら、その量またはその量の半分からご自宅で摂取していただき、5、6回摂取しても出なければ見つけた安全量まで増やして頂きます。口の周りが赤くなったりすることがよくありますが、これは食物アレルギーというよりも接触性アレルギーの結果であることが多いので摂取を続けていただきます。80%くらいのお子さんは食べていくうちに出なくなります。出なくなったら、2ヶ月後くらいにその倍量の量を外来で単回負荷（1回摂取して反応があるか見る）をして反応があるかを見ていきます。もし食べられれば、その量を自宅で食べいただきますが、反応が出てしまった時（全身にわたる蕁麻疹、呼吸器症状、消化器症状など）は3ヶ月くらいあけて、再度同じ量を負荷する試験を行います。こうやって食べられるようにしていきます。乳児の食物アレルギーの3大原因食物は、鶏卵、ミルク、小麦ですが、この方法でやれば6歳までに70～80%のお子さんは食べられるようになります。



こどもセンター
梅田 陽 教授

最近注目されていることは、食物アレルギーの2重暴露仮説という考え方です。食物アレルギーは腸管から原因蛋白が入って発症するよりも、傷んだ皮膚から入って食物アレルギーが起こる経皮感作の方が主流だろうと言われています。実際、お話をうかがうと0～4ヶ月頃に乳児湿疹やアチピー性皮膚炎で苦労したという患者さんがほとんどでこの説の正しさを実感しています。そのため、今アレルギーに携わっている小児科医は、この時期の赤ちゃんでスキンケアが必要な赤ちゃんをいかに見つけ出して治療をするかを考えています。もし、ご心配なことがあれば、かかりつけ医の先生と相談していつでも外来を受診してくださって構いません。お待ちしています。

TOPICS ロビーコンサート開催報告



平成 30 年 9 月 21 日（金）19 時より中央棟 1 階会計
前にてロビーコンサートが行われました。

今回は当院のロビーコンサート 6 回目のご出演となる、馬場耀岳（ばば ようがく）さん他 3 名の方に、詩吟を披露していただきました。

和歌や詩を主に、それぞれが詩吟独特のメロディーにのせて、日頃練習されている成果を発揮されました。

「詩吟」についての解説も交えながら、普段馴染みのない方でも、分かりやすく楽しむことが出来たと思います。

また通常のロビーコンサートとは違い、お越しいただいた方も一緒に声を出し、参加出来るロビーコンサートとなりました。



～次回のロビーコンサートのご案内～

日時：平成 30 年 11 月 29 日（木）19:00～（予定）

場所：中央棟 1 階 会計前ロビー

演奏：洗足学園音楽大学（境ゼミ 学生の皆様）



平成 29 年 2 月に学校法人洗足学園と学校法人昭和大学が【両大学の特色を活かした連携により、教育・研究・診療・芸術・保育の分野における充実と発展】を目指し包括連携協定を締結しました。当院では平成 30 年 2 月に初めてロビーコンサートを実施しました。

今回は境ゼミの学生の皆様による演奏が行われます。

多くの方にお越しいただけることをお待ちしております。

※日程及び内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。



TOPICS 秋期公開講座

10月13日(土)に秋期公開講座を実施しました。今回は「化学療法治療について」(講演者:縄田 修一(薬剤部(病院薬剤学講座)・講師))と「放射線治療について」(講演者:野田 主税(横浜市北部病院 放射線技術部 技術部長、昭和大学大学院 保健医療学研究科・講師))の2演題の講演を行いました。当院の公開講座は耳の不自由な方でもお楽しみいただけるよう手話通訳や要約筆記、磁気ループを設置しております。

当日は90名近くのたくさんの方にお越しいただき、誠にありがとうございました。

講演後にお答えいただいたアンケートには、「勉強になりました」「今後も公開講座に参加したい」など好評の声や今後希望するテーマやご意見など様々な声をいただきました。今後の参考とさせていただきたいと思います。



〈第一講演の様子〉



〈第二講演の様子〉



〈左から 野田技術部長、成島副院長
(内科・司会者)、縄田講師〉

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

【附属施設から】

・高瀬 真理子 (こどもセンター)	昭和大学病院	小児科から	2018年11月1日付
・中山 稔理 (脳神経外科)	藤が丘病院	脳神経外科から	2018年11月1日付
・禅野 誠 (眼科)	昭和大学病院附属東病院	眼科から	2018年11月1日付

【学外研修から】

・望月 健一 (消化器センター)	2018年11月1日付
------------------	-------------

異動・退職医師

【附属施設へ】

・三輪 善之 (こどもセンター)	江東豊洲病院	こどもセンターへ	2018年11月1日付
・安藤 茜 (麻酔科)	昭和大学病院	麻酔科へ	2018年11月1日付

【学外研修へ】

・川内 雄太 (脳神経外科)	2018年11月1日付
・友寄 英士 (眼科)	2018年11月1日付
・小川 正隆 (消化器センター)	2018年11月1日付

【国内留学へ】

・加藤 一樹 (消化器センター)	2018年11月1日付
------------------	-------------

【退職】

・井口 陽 (産婦人科)	2018年10月31日付
--------------	--------------

患者さんからのご意見・ご要望

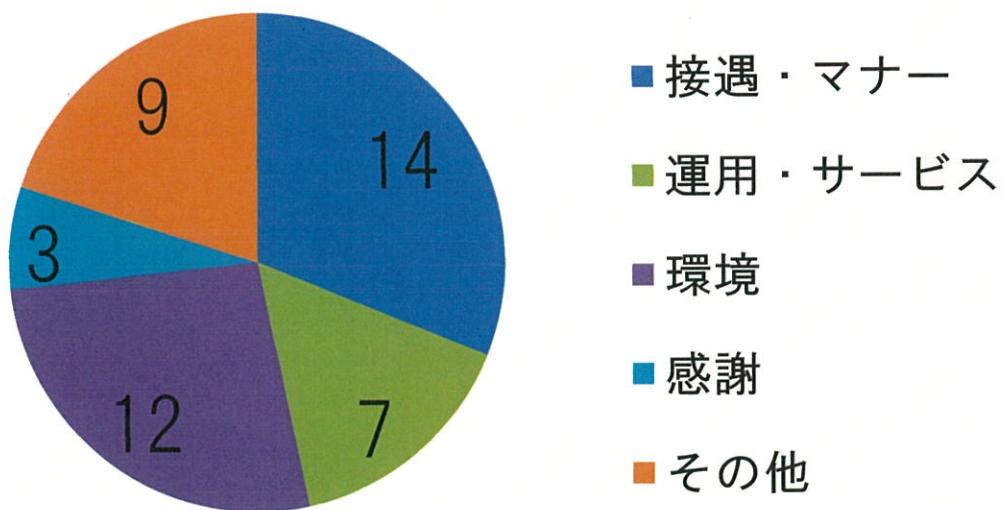
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<運用・サービスについて> 入院時の食事ですが全体的に味がうすい、魚や繊維質の多い物をもっと増やしてほしい。 他 13 件	この度は、貴重なご意見ありがとうございます。 根菜類を多く使用した献立が出来るように努めてまいります。魚に関しては、季節の魚を使用したメニューをご提供出来るように努めてまいります。10月の献立に反映していきたいと思います。 ※食事制限等により、必ずしもご要望にお応え出来るわけではありません。あらかじめご了承ください。
<環境について> 産婦人科の診察室内のトイレの中ですが、荷物を置く所や掛ける所があれば助かります 他 11 件	ご意見ありがとうございます。 荷物掛けを設置する等、対策を検討していきます。 よろしくお願ひいたします。

平成30年9月
ご意見・ご要望の総計
45件



診療統計

前年同月比 ()内は 1 日平均

診療実日数 2017 年 9 月 (入院 : 30 日・外来 : 24 日)、2018 年 9 月 (入院 : 30 日・外来 : 23 日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2017 年 9 月	18,021 人 (600.7 人)	27,300 人 (1,137.5 人)	468 件 (15.6 件)	720 件 (36.0 件)
2018 年 9 月	18,147 人 (604.9 人)	24,657 人 (1,072.0 人)	524 件 (17.5 件)	640 件 (35.6 件)

TOPICS 回転扉の飾り付けのご紹介

当院では正面玄関の回転扉内に飾り付けを行って
おります。

今回ご紹介するのは【実りの秋】をテーマとした飾
り付けです。

季節ごとに異なった飾り付けをしておりますので、
正面玄関へ立ち寄った際には、ぜひご覧ください。



編集後記

吹く風に冬の気配を感じられる季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

11 月には文化の日があります。この日には全国各地で芸術などをテーマとした催し物が行われるよう
です。そのようなイベントにお出掛けになる方もいらっしゃるかもしれません。

「芸術の秋」でもありますので、美術館や博物館に足を運ぶのも楽しそうですね。

先人達の作品に触れ、作品が生み出された背景や作者の思いを想像して過ごすことも、秋にぴったり
ではないでしょうか。

今年も残すところあと 2 ヶ月です。数多くの芸術作品に触れ、新たな発見や感動を体感し、秋の時間
を過ごしてみるのはいかがでしょう。

〈昭和大学横浜市北部病院 管理課 鈴木真祐子〉



北部病院だより 第 125 号
平成 30 年 11 月 1 日発行
発行責任者 門倉 光隆 (昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 緒方 浩顕 (広報委員会 委員長)
発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』
がご覧いただけます。